

ピアホームだより

2022. 7. 10

今回はお薬の基本知識

お薬に関心の深い利用者・Kさんから、新しい抗精神病薬・ラズーダに関する大変良い質問がありましたので、ピアホームだよりに載せて、皆さんと共有したいと思います。

1 お薬が効いている時間は？

ラズーダは、半減期(お薬が体に入り、半分が出て行ってしまう時間)が 22 時間だそうです。そのため、用法は、1 日 1 回の服用となっています。

Kさんはこれでは、2 時間は効いてないのでは？との疑問を持ったのです。

半減期とは何だろう？

お薬は、体の中に入ると溶解し(ゆっくり溶けるようにしているお薬も)、概ね小腸から吸収されるものが多いようです。体の中に入ったお薬は血液で肝臓に運ばれます。これは、肝臓の解毒作用を受けるためです。その後、心臓に

送られ全身に運ばれます。このお薬の場合は脳に入り作用することになりますね。

各組織に送られた血液成分(お薬も)は役目を果たし静脈で腎臓に運ばれ、要らないものを尿として排泄します。

こうやって、お薬の半分量が排泄された時間を半減期と言います。お薬が体内に残っている長さの目安になる数値と考えるとよいでしょう。お薬が効かなくなる時間を表わすわけではありません。

じゃ、お薬が効いているとは？

有効血中濃度に達しているかどうかということになります。お薬が作用すべき器官に必要な量が到達する状態—血中濃度と比例すると考えられています。

このことが正確に分かっているお薬はほとんどありません。古くから使われ、現代社会で必須となっているお薬は、長く研究が積み重ねられ、有効血中濃度や副作用が出てくる血中濃度が分かっています。精神医療の分野では、躁うつ病で用いるリーマスがそんなお薬になりますので、血中濃度をモニターしながら使っていますね。

お薬を連続服用すると、

お薬を 1 回飲んだ時と 2 回飲んだ時では、身体のお薬濃度は違いますね！普通、5 回ほど服用すると、体の中のお薬は一定の状態になります。飲み忘れて時の対応などは、こういった科学的な計算から、慌てず対処することが出来ます。

2 食事の影響のあるお薬

ラズーダは、空腹時に吸収が落ちる薬剤のようですので、必ず食後に服用するようになっています。添付文書では、飲み忘れた時少量の食事を摂ってから服用するよう推奨した記述が追加されています。

データは、公表されている添付文書からは、おおよざば過ぎて読み取りづらいのが普通です。しっかりした薬局では、インタビューフォームを整備し、詳しい内容を調べることが出来るようにしているはずですよ。

Kさんのかかりつけ薬局は、いい加減な答えしか返らず、残念ながら役に立ちませんでした。育てて行きましょう。

今はネット時代、Googleからでも文献が見つかる場合もあります。

今月の予定

7月:ピアII職員募集開始